

2025年度活動方針

【HoPEの目的】

同友会の提唱している「21世紀型企业づくり」を実現し、持続可能な社会を担う産業・企業を作り上げるため、産学官による協力体制を構築し 21世紀の社会をリードする企業ニーズを熟成させ、大学や各種研究機関のシーズを活用して、製品化・事業化の可能性を追求していくことを目的とする。

===2025年度スローガン=====

いかなる事態でも しなやかな事業 しなやかな企業 となるべく、先進的 且つ グローバルな視点で、持続可能な社会のために必要なモノづくり、コトづくり、サプライチェーンの連携を通して、企業の変革を目指そう！

=====

激動する世界経済の動向は、国際経済秩序にかつてない影響をもたらしています。物価高もさらに進み、経済的格差の是正や、気候変動対策に直結するエネルギー問題の解決が切実さを増しています。さらに道内では人口減少や少子高齢化、人材不足も深刻化し、雇用と地域経済を担う中小企業の新たな活路をどう切り開くかが問われています。

そうした中で2024年度HoPEは、半導体産業と北海道経済の関わりやまちづくり、産学官金連携や企業の社会的役割、業務の自動化や産業の基幹技術の革新、宇宙やモーションキャプチャなど新分野へのチャレンジ、さらに地球温暖化や北海道ワインのテロワール、そして知的財産まで、中小企業と北海道が直面する課題や可能性を多面的に学び合いました。

21世紀の幕開けに誕生したHoPEは、来年6月で25周年を迎えます。この間の歩みを通して、モノづくり、コトづくりはじめ、農業や食料、さらに医療・介護・福祉・教育・物流・交通等を包括した豊かで持続可能な地域社会構築のカギは、産学官金の有機的な連携にあることが明らかとなりました。新年度は、社会的課題解決の担い手である21世紀型企业づくりをさらに深化させ、しなやかな事業 しなやかな企業づくりを進めてまいります。

活動テーマ

1. 地域社会への貢献

- ①全道の産学官金ネットワークの連携を強化し、持続可能な地域社会を創造する活動
- ②一般市民や社会人を対象とした社会教育活動や、各大学との連携

2. 経営体質の変革

- ①顧客の悩みに応え、新市場、新分野を創造的に切り開く活動
- ②人間尊重経営を軸に、ジェンダー平等など多様性を大切にして、誰もが潜在力を発揮できる社会、企業づくり

3. 地域資源の活用

- ①本道の基幹産業である農業の多面的役割や「食」を活かした新たなビジネスの創造
- ②観光と地域づくりなど多面的な役割を考える

4. 経営環境への適応

- ①日々高度化する AI、ICT 技術の活用を加速する取り組み
- ②新たな市場創造を目指すスタートアップ企業のチャレンジに学ぶ
- ③「デザイン経営」や持続可能な創造都市を目指す「デザイン都市」に学ぶ
- ④GX(グリーントランスフォーメーション)への理解の促進と取り組み
- ⑤激動する国際経済の動向を学び、これからの企業づくり、地域づくりを考える

5. 地域循環型社会の創造

- ①北海道の地域特性を生かした再生可能エネルギーや、ゼロカーボン『創エネ、省エネ、楽エネ技術』への取り組み
- ②生物多様性と豊かな自然環境を大切にしたい企業づくり